

## ⑫北近畿豊岡自動車道（八鹿日高道路）建設事業

受賞機関 国土交通省近畿地方整備局  
豊岡河川国道事務所

### 全建賞審査委員会の評価ポイント

北近畿豊岡自動車道の一部区間を構成し、平成29年3月に9.2kmを供用した八鹿日高道路の整備事業。北近畿豊岡自動車道は順次開通しており、全線で約8割が開通し、観光客数や観光消費額は近年過去最高を更新している。さらに、今回の開通により所要時間が10分短縮し、但馬地域の周遊観光活性化への支援が期待されることを評価。

### 1. はじめに

北近畿豊岡自動車道は、豊岡市を起点とし丹波市に至る延長約70kmの高規格幹線道路で、兵庫県北部の但馬地域と丹波地域、京阪神都市圏との連結を強化し、地域の活性化を支援する道路である。

北近畿豊岡自動車道の一部を構成する八鹿日高道路（日高神鍋高原IC～八鹿水ノ山IC、9.7km）は平成18年度に事業化し、平成29年3月25日に暫定2車線にて開通した。

### 2. 事業の概要

この度開通した八鹿日高道路は山間部を通過するため、延長9.7kmのうちトンネルが約66%、橋梁が約15%、残りの約19%が土工区間となっており、冬季には除雪を行いながら工事を進め、資機材の搬出入にあたっては集落内を工事用道路として利用するなど、地域の理解と協力を得て工事を進め、無事開通を迎えることができた。

北近畿豊岡自動車道は、平成17年4月の春日JCT・IC～氷上IC間の開通以来順次開通しており、全体の約8割が開通したことにより、地域間のアクセス性の向上による地域活性化への支援が期待される。

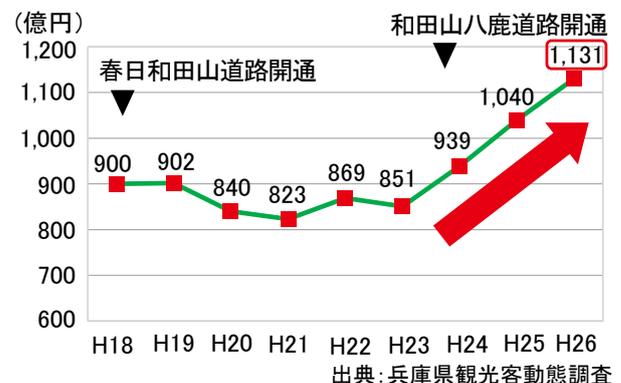
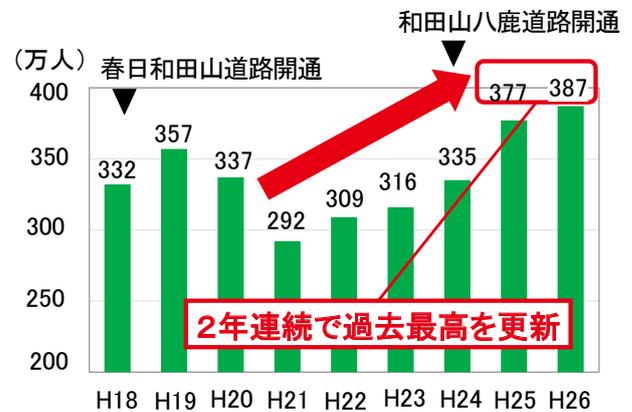


完成した八鹿日高道路

### 3. 事業の成果

当該道路の整備が進み広域交通ネットワークが形成さ

れたことにより京阪神地域から但馬地域が身近となり、入込み観光客数や観光消費額が増加するとともに、沿線における企業立地が進んでいる。観光客数・観光消費額は近年、過去最高額を更新しており、観光客の8割以上が自動車を利用していることから、八鹿日高道路の開通により所用時間が短縮、利便性が向上したことで、さらなる効果が期待されている。



出典：兵庫県観光客動態調査  
観光客数と観光消費額の推移

### 4. おわりに

北近畿豊岡自動車道の早期整備に係る地元の強い要望、大きな期待に応えるべく、当面の目標である日高豊岡南道路の早期供用を目指すとともに、但馬地域のさらなる発展に向け地域と一丸となって北近畿豊岡自動車道の整備を進めていく所存である。

賛助会員 (株)安藤・間、(株)大林組、大林道路(株)、川田建設(株)、(株)熊谷組、五洋建設(株)、セントラルコンサルタント(株)、西松建設(株)、復建調査設計(株)、(株)横河ブリッジ